



適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	A C Nを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ウキクサ類 アオミドロ・藻類による 表層はく離	ウキクサ類、アオミドロ・藻類 による表層はく離の発生時 但し、収穫45日前まで	20個 (1kg)/10a	3回以内	水田に投げ 入れる。	3回以内
れんこん	ウキクサ類	ウキクサ類の発生時 (れんこんの立葉発生後) 但し、収穫45日前まで				





効果・薬害等の注意

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきる。
- 開封後はすみやかに使い切る。
- 処理に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態で、10アール当り20個の割合で水田に均等に投げ入れる。処理後、少なくとも3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、処理後7日間は落水、かけ流しはしない。なお漏水の激しい水田（減水深2cm/日以上）での使用はさける。
- ウキクサ類、アオミドロ・藻類による表層はく離の発生が進むと拡散が不十分となり効果が劣ることがあるので、発生を認めた場合なるべく早い時期に処理する。
- 水稻が水没するような深水では、薬害を生じることがあるので使用をさける。
- れんこんに使用する場合、処理後一時葉の退色がみられることもあるが、その後の生育収量には殆ど影響は認められない。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意



- 散布の際には手袋などを着用する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

治 療 法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田、養殖池等周辺での使用はさける。

水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用する。

散布後は水管理に注意する。

空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。

